

2月5日 発表内容

|   |
|---|
| <p>◆ ARグラスを活用したシステムによる『個と個を繋ぐ新しいビジネス形態』／三豊市／ Panda (株)</p>  |
| <p>個人顧客に商品を販売する商店に「目の前にいる人に関連するプロフィール情報をARグラス上に表示するシステム」を販売する。システムの導入により、商店は従業員の能力や経験に関わらず、顧客にとって特別感のある接客の提供が実現し、リピータ客の新規獲得による、売り上げの増加が見込める。ARグラスを含めた初期導入費用とライセンス使用料と顧客情報管理代金を含めた毎月のシステム利用料を支払うことで継続的に利用できるシステムを提供する。</p> |
| <p>◆ 高松産クラフトビールの製造・販売／高松市／(同) 白雀</p>  |
| <p>地理的に西日本の中心に位置し、他県へのアクセスがよく、優しい人々、素晴らしい景観、美味しい食べ物等様々な魅力を持つ香川県。その県庁所在地である高松市にて、クラフトビールを製造し、販売する。県産の農産品を使用したビールの製造や、地元飲食店の方との新商品共同開発等、様々な人と一緒に魅力的なビールを製造したいと考えている。多種多様な製品を製造し、クラフトビールの美味しさ、奥深さと共に、香川県の魅力も県内外に伝えていく。</p>   |
| <p>◆ 巨大なコミュニケーションツール「デカらくがき本」を活用した新規事業／高松市／ 未伽</p>  |
| <p>通常イメージする“らくがき帳”のはるか上をいく、驚きの大きさ「デカらくがき本」をコミュニケーションのツールとして開発しました。身体感覚や五感を使う楽しみという昔ながらの体験、「手で描くこと」「皆で創ること」が、生きる力・考える力を育む基礎として重要と考えます。「子どもたちの笑顔」「未来への夢」を応援、ことば・年代・国を超え、皆が笑顔でつながるお手伝いをします。</p>                              |
| <p>◆ 技+技=無限／高松市／ TASUKI-Int</p>   |
| <p>伝統工芸を生業としている職人の方々は、後継者問題と今後の行く末の不安を抱えている。そこで、伝統工芸品を身近に感じてもらえるよう現代の生活にマッチさせた今まで見たことがないような新しい商品の提案を行い、海外に向けて販売するしくみを作る。職人のこだわり、譲れない想いをくみ取りながら、「廃業」を免れる企画を進めていく。</p>  |
| <p>◆ 香川県で人工知能と自動化ツールを活用してDXを推進するビジネスの創出／高松市／グローバルインテグラルシステムズ (株)</p>  |
| <p>香川県の企業・誘致企業の人手不足やデジタル化の課題を、AI(人工知能)やRPA(自動化ツール)の先端技術でサポート(コンサルティング)し香川県企業のデジタルトランスフォーメーションを推進する。</p>   |
| <p>◆ 街の飲食店を社員食堂のように利用して、地域でお金を循環させる仕組み／高松市／ 森本 恵子</p>   |
| <p>コロナ禍において、政府が実施する飲食店への救済策は結果が出ているが税金を投入しているため継続的なものとはならない。一方中小企業には社員食堂を有する企業は少なく地方都市は福利厚生制度が充実していない。ここに着目し「企業の従業員がスタンプアプリを利用し社員食堂のように街の飲食店で昼食を取れる福利厚生の提供」福利厚生を利用し街中の飲食店を元気に！いわば地域の中で継続的にお金を循環させる仕組みの提供です。</p>           |

(発表順)